

講師：笠原 恒則（かさはら つねのり）



「チェンバロは（残念ながら）世の中にピアノほどの台数はありません。そんな中、音文にも開館時から備品としてチェンバロがあるのですが、いろいろな事情から、近年はほとんど出番がありませんでした。使われない楽器ほど不憫なものはありません。一緒に音文のチェンバロを弾いてみましょう！」

プロフィール

新潟市出身。中学時代にピアノで習ったバッハを入口に古楽の世界に傾倒し、のちに岡田龍之介氏に師事してチェンバロに転向。近年はホームグラウンドのバロックに加えて、ロックやポップスなど様々なジャンルの音楽をチェンバロで弾き、楽器の新たな可能性を開拓している。チェンバロを車載して県内外を旅して回り、年間数十回の公演を行う。アンサンブル越友楽道、トリオ・ペーナほかメンバー。日本チェンバロ協会正会員。新潟市西区在住。ホームページ「参ります」<http://nemnem.sakura.ne.jp/tk/>

